

いわて 復興 だより

がんばろう!岩手 つなごろう!岩手

第180号

令和3年12月号



復興支援10年
ありがとうございます

三陸復興

平成23年3月11日に東日本大震災津波が発生しました。発災以来、国内外から多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げ、この「つながり」を大切に、復興のステージを更に前に進めていく岩手県の今を紹介します。

開通

三陸沿岸道路全線開通

岩手全域
ALL IWATE



岩手県の縦軸、横軸を構成する新たな高規格道路ネットワークが構築されました。今後、物流、観光、救急医療、防災など、様々な面で効果を発揮し、三陸沿岸地域の復興を力強く後押ししていくことが期待されます。

県内の復興道路、復興支援道路は、東和～花巻間を除き無料で通行でき、周辺には、休憩サービスの提供などのため、今年開業した「青の国ふだい」や「たのはた」など、多くの道の駅があります。また、久慈北IC付近や山田IC付近にも新たな道の駅の整備が進められており、是非、これらの道の駅も利用しながら身近になった三陸沿岸地域にお越しください。

■問い合わせ 岩手県県土整備部道路建設課

☎ 019-629-5866

岩手県の復興道路についてはこちら→



令和3年12月18日(土)、三陸沿岸道路「普代～久慈」間(延長25km)が開通し、復興のリーディングプロジェクトとして主に国が整備を進めてきた復興道路(県内213km)と復興支援道路(県内146km)が全線開通しました。

同日、久慈市で行われた開通式では、斉藤 国土交通大臣、西銘 復興大臣、鈴木 財務大臣、達増 知事などが出席し、冒頭挨拶で知事は「岩手の沿岸・三陸が一つに結ばれ、沿岸・三陸と内陸も結びついて一つになり、一つになった岩手県が日本各地や世界とつながっていくことは、岩手県政において歴史的な出来事です。」と述べました。その後、テープカットが行われ、関係車両の通り初めで開通を祝いました。

全線開通により、仙台市から八戸市までの所要時間が5時間13分(359km)となり、約3時間20分短縮され、



開通式の様子(写真提供:三陸国道事務所)



通り初めの様子(写真提供:三陸国道事務所)

開通

一般国道340号 今泉大橋工区全線開通

陸前高田市
RIKUZENTAKATA

今泉大橋

令和3年11月29日(月)、陸前高田市内で整備が進められてきた一般国道340号今泉大橋工区について、今泉大橋(280.3m)を含む2.6kmが全線開通し、三陸沿岸道路陸前高田ICと一般国道45号が最短で結ばれました。

この道路は、岩手県が「復興まちづくり連携道路」に位置付け、整備を進めてきたものであり、東日本大震災津波と同規模の津波でも浸水しない高さとなっています。今回の開通により、災害時等において、浸水区域を回避した確実な緊急輸送機能を確保するほか、一般国道45号から三陸沿岸道路(陸前高田IC)間のアクセス性向上による観光・産業振興が見込まれます。

■問い合わせ

岩手県沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター
道路整備課

☎ 0192-27-9932

ホームページはこちら➡



スタート

トレイルガストロノミー ツアー実施

久慈市
野田村
普代村
田野畑村

令和3年11月29日(月)から12月4日(土)の6日間、普代村は、北三陸の豊かな自然と食の魅力を伝えることを目的に、久慈市、野田村、普代村、田野畑村の長距離自然歩道みちのく潮風トレイルのコース数十kmを歩きながら、郷土料理や伝統芸能、観光名所を楽しむ「トレイルガストロノミーツアー」を実施しました。

このツアーには、ハイキングを愛好する首都圏在住の12名が参加し、普代村の宿泊施設を拠点に5泊6日で4市村を周遊しました。

参加者は、トレイルに挑戦しながらホタテやまめぶなどを堪能し、「自然の中で食べる料理は格段に美味しい。その土地の風土を知りながら食を楽しめるのは新鮮」と話しました。

普代村では今後も、屋外の活動でウィズコロナにも対応でき、歩きながら地域の暮らしや食を楽しむことができる長期滞在型の周遊ツアーを実施して、北三陸の風景や地域の魅力を発信していきます。



トレイルガストロノミーツアーの様子

■問い合わせ 普代村農林商工課

☎ 0194-35-2115

世界へ、未来へ つなみ いわてTSUNAMIメモリアル

東日本大震災津波の事実と教訓を伝える施設「東日本大震災津波伝承館」(いわてTSUNAMI(つなみ)メモリアル)を紹介します。

令和3年11月18日(木)、東日本大震災津波伝承館の事業運営に関する調査・審議を行う、令和3年度2回目の運営協議会(会長・南正昭岩手大学理工学部教授、委員11人)が開かれました。

この日は、リモートを含む委員9人が出席し、事務局から、4月1日から10月31日までの来館者数は約10万6千人で、修学旅行・校外学習による県内の学校の利用や、県外の観光ツアーによる利用が多いとの報告を受け、その後意見交換が行われました。

委員からは、都道府県別の予約状況や教育旅行の団体予約等の一層の分析・活用や、来館者の来館前後の訪問施設の調査などによるゲートウェイ機能の検証、各学校のニーズをとらえたきめ細かな震災学習の実施、オンラインでの伝承館の発信のあり方等について意見が寄せられました。

東日本大震災津波伝承館では、委員の方々から頂いたご意見を踏まえ、展示や教育普及事業等、より良い運営に取り組んでいきます。

■問い合わせ 東日本大震災津波伝承館

☎ 0192-47-4455



意見交換の様子

事業

和ぐるみプロジェクトが
優良提案に決定盛岡市
MORIOKA

復興庁の「新しい東北」ビジネス創業支援事業2021の優良提案に、被災地のなりわい支援などに取り組む一般社団法人 SAVE IWATE (盛岡市、寺井良夫理事長)の「和ぐるみプロジェクト」が、選ばれました。

「新しい東北」ビジネス創業支援事業は、東日本大震災津波からの産業復興や地域振興につながる事業の応援を目的としたもので、今回選ばれた「和ぐるみプロジェクト」は、多彩な和ぐるみの食文化を背景に、資源量も豊富な「いわての和ぐるみ」に着目し、実や殻、樹皮を余すところなく活用したスイーツやバッグなどの商品開発により、被災者の雇用の確保に取り組んできたものです。

復興庁からは、岩手らしさを生かした復興事業で、和ぐるみが豊富に存在する東北全体にも応用できる点が評価されました。

今後「和ぐるみプロジェクト」では、和ぐるみの増産やPR活動、販路開拓、商品改良等に取り組むとともに、最終的には、和ぐるみの品種改良や東北各地の和ぐるみ産地と連携したビジネス拡大につなげていくこととしています。



和ぐるみを活用した商品

■問い合わせ 一般社団法人 SAVE IWATE
☎ 019-601-6482

ホームページはこちら→



開催

いわて復興の絆コンサート
開催陸前高田市
RIKUZENTAKATA

令和3年12月18日(土)、陸前高田市で、いわて復興の絆コンサートが開催されました。

このコンサートは、東日本大震災津波から10年の節目に復興支援への感謝のメッセージと、令和2年12月に逝去された世界的なヴァイオリニストのイヴリー・ギトリスさんへの感謝と哀悼の意を込めて開催されたものです。

ギトリスさんは、平成24年3月の県と陸前高田市の合同追悼式での、高田松原の流木で作製したヴァイオリンによる演奏を皮切りに、被災地でのコンサートや平泉中学校での演奏交流会などで来県され、多くの県民に癒しと復興に向けた勇気を与えてくださいました。

コンサートでは、ギトリスさんと親交があったヴァイオリニストなど7名が演奏を披露し、繊細かつ優美な旋律がギトリスさんへの感謝と祈りを空に響かせました。



コンサートの様子

■問い合わせ 岩手県文化スポーツ部文化振興課
☎ 019-629-6288



イベント情報

令和3年度第3回いわて復興未来塾

(併催:いわて三陸復興フォーラム(内陸報告会) & 「いわての復興を自治の進化に」第9回シンポジウム)

盛岡市
MORIOKA

1日目 開催日時 令和4年1月30日(日) 15:00から17:00まで
開催場所 サンセール盛岡3階 大ホール(岩手県盛岡市志家町1-10)
プログラム

基調講演	事例報告	
「碑の記憶」デジタル技術を通じた東日本大震災津波の伝承 株式会社BC岩手放送メディア編成局メディア戦略部長 相原 優一氏	後方支援拠点における防災力向上に向けた伝承発信の取組事例 遠野市消防本部 消防長 三松 丈宏氏	伝承発信活動と観光交流を組み合わせた新たな事例 陸前高田市観光交流課 課長補佐 村上 聡氏

2日目 開催日時 令和4年1月31日(月) 13:15から15:15まで
開催場所 サンセール盛岡3階 大ホール(岩手県盛岡市志家町1-10)
プログラム

- 応援職員等による活動事例報告
- 応援職員 OB 等座談会
＜東京都、大阪府、静岡県、名古屋市＞
東日本大震災津波を忘れない 全国からの支援と交流の歩み



- 申込方法 E-mailで申込み AJ0001@pref.iwate.jp
※件名を「第3回いわて復興未来塾」として、下記の必要事項をご記入の上、申込みください。
(氏名(ふりがな)/所属・団体名等/住所/電話番号/メールアドレス/参加希望日)
- 申込メ切 令和4年1月17日(月)
- その他 当日の様子は、岩手県公式インターネット番組・ニコニコ生放送「いわて希望チャンネル」でも御視聴できます。
- 問い合わせ いわて未来づくり機構(岩手県復興防災部復興推進課)
☎ 019-629-6945

平泉世界遺産
ガイダンスセンター
令和3年度第1回企画展平泉町
HIRAIZUMI

「奥州藤原氏が観た東方浄瑠璃世界
—赤沢七仏薬師—」

令和3年11月20日(土)、世界遺産をはじめとする「平泉の文化遺産」の価値を広く世界中に伝え、後世に継承するための拠点として、平泉世界遺産ガイダンスセンターが開館しました。

現在、企画展示として「奥州藤原氏が観た東方浄瑠璃世界 —赤沢七仏薬師—」を開催しています。是非この機会に平泉を訪れ、平泉の文化遺産を知り、学び、巡ってください!

- 開催期間 令和3年11月20日(土) ~ 令和4年2月13日(日)
- 開館時間 9:00~16:30
(最終入館は閉館30分前まで)
- 入館料 無料
- 問い合わせ 平泉世界遺産
ガイダンスセンター
☎ 0191-34-7377



※新型コロナウイルス感染症の影響等により、中止や内容が変更となる場合があります。予め、問い合わせ先にご確認ください。



三陸鉄道 「震災学習列車」


三陸鉄道で
見て聞いて感じる
被災地の今

三陸鉄道では、列車で旅をしながら被災地の「今」を直接「見て」「聞いて」「感じて」、防災について学ぶ震災学習列車を運行しています。

震災学習列車では、三陸鉄道社員や沿線住民が車内で震災の状況などを紹介し、被災状況がご覧いただける場所で一旦停車または徐行運転いたします。

また、12月からは毎年好評の、「洋風こたつ列車」(宮古—盛岡)や「こたつ列車」(久慈—宮古間)を運行しており、令和4年1月1日には「三鉄初日の出号」も運行します。

震災学習列車

- 開催期間** 通年 **所要時間** 約60分
- 貸切料金(一両)**
- 田野畑—久慈間、盛—釜石間 一般車両 43,300円 イベント車両 51,700円
 - 鶴住居—宮古間 一般車両 48,340円 イベント車両 56,740円
- ※ イベント車両：お座敷車両・レトロ車両
- 詳細については、ホームページをご覧ください → 



震災学習列車の様子



こたつ列車の様子



いわてさんりくびと

連載「いわてさんりくびと」では、被災地・三陸の復興に向け、熱い想いをもち、活躍する方々を紹介し、第126回は大原圭太郎さんをご紹介します。



一般社団法人
fumoto
代表理事
おおはら けいたろう
大原 圭太郎さん

～ チャレンジする人の土台に～

PROFILE —— 宮城県仙台市出身。宮城県の服飾の専門学校を卒業後、アパレル小売店に勤務。東日本大震災津波後はアパレルブランドの運営にも取り組む。平成28年、洋野町地域おこし協力隊として活動。令和元年「一般社団法人 fumoto」を設立。地域おこし協力隊事業を受託し、地域課題の解決に向けて活動。

やりたいことに向き合う

アパレル小売店に勤務していた大原圭太郎さんが、洋野町の地域おこし協力隊の道に進んだのは、東日本大震災津波がきっかけでした。

「中学生の頃から洋服が好きでアパレル関係の仕事に進みましたが、震災を機に、『自分がやりたいことに正面から向き合おう』という気持ちが強くなりました。地域から新しいものを生み出したいと考えている時に、地域おこし協力隊に出会いました」と大原さんは振り返ります。

実際に地域おこし協力隊で働くうちに「誰かが隊員の活動を伴走して支援しないと、3年の任期を終え、残りたくても残れなかったり、次のキャリアに進むことが難しくなる。協力隊の働く環境を整えたい」と大原さんは考えるようになりました。

洋野町を、夢実現の場所に

協力隊の任期が終了した後、大原さんは、令和元年に「一般社団法人 fumoto」を設立し、地域おこし事業を受託して、地域の課題の解決に向けた活動に取り組んでいます。「自分の役目は、地域おこし協力隊員へのアドバイスや事業のマネジメント、そして地域の人とのつなぎ役」と語ります。

「現在、10人の地域おこし協力隊が在籍し、デザイン業務や空き家・空き店舗活用などに取り組んでいます。関係人口創出事業もそのひとつで、冊子やSNSで情報発信をしています。洋野というフィールドを使って、自分の夢を実現する人、地域おこし協力隊をステップに活躍する人を増やしたい」と大原さんは未来を見据えます。

岩手県の被害状況

令和3年11月30日現在

- 人的被害 死者：5,145人(余震、震災関連死を含む)
行方不明者：1,110人
- 建物被害(住家のみ、全半壊) 26,079棟
被害状況等の詳細／義援金・寄附金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

[検索](#)

皆様のご支援、ありがとうございます

令和3年11月30日現在

- 義援金受付状況 約188億820万円(98,363件)
 - 寄附金受付状況 約202億8,296万円(12,275件)
 - いわたの学び希望基金(※)受付状況 約104億3,257万円(26,097件)
- ※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。



いわて震災津波アーカイブ～希望～

約24万点の資料を検索・閲覧できます。

[いわて震災津波アーカイブ](#)

[検索](#)



いわて復興だより 第180号

令和3年12月27日発行 企画・発行／岩手県復興防災部復興推進課 ☎019-629-6945 編集・印刷／永代印刷株式会社

次回は令和4年1月31日の発行を予定しています。